

横田園  
横田竜雄さん・直紀さん  
南町田



# 時代の流れに柔軟に対応

まち☆ベジが知る



2022年度の農産物  
品評会では横田園のア  
オハダが最優秀賞を受  
賞しました



品評会

## 花柚子の商品開発



販売用に栽培し、今では大きく育った花柚子の木。市内の酒屋、醤油屋などとコラボした商品も開発されています



## 昔の南町田



昭和43年の南町田。母親と畑に立つ幼少の横田竜雄さん

## 春の大即売会



春の大即売会（3～5月）は毎年大盛況

今のおすすめはレモンなどの柑橘類。町田でも庭先でよく育つそうです。さらに「これからの推し」は「ヤシの木」。全国にマニアックな需要があり、息子の直紀さんとともにSNSなどを活用した情報発信にも力を入れています。

「畑の植木に植札をつけ、一般の人を招き入れて販売する直売スタイルにしました。当時はほかに植木を買えるお店がなかったのでよく売れましたよ。常に時代のニーズを捉えてきました。

木を栽培していましたが、バブル後は個人宅用の植木に方向転換。

「昭和40年代から南町田の都市開発が始まり、これからは植木の需要が増えるだろうと考えた父が、思い切つて野菜ではなく植木の栽培に切り替えました」と話す竜雄さん。当初は主にゼネコン向けに公共事業用の植木を栽培していましたが、バブル後は個人宅用の植木に方向転換。

### 二ーズを捉える 先見の明

南町田で植木を生産している横田園。かつては主に野菜や米を作る農家で、現在の南町田、鶴間地区には見渡す限りの田畑が広がっていました。